

■ オリンピックでは、日本選手が大活躍で、元気を与えてくれましたね。

9月には、日本臨床発達心理士会全国大会がビックサイトで行われる予定です。オリンピックに負けたくないくらい盛り上げていきたいと思っておりますので、会員の皆様もぜひご参加ください。



■ 目 次

- 2012年度 日本臨床発達心理士会東京支部 総会報告
- 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動報告
- 2012年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動計画
- 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 決算報告
- 2012年度 日本臨床発達心理士会東京支部 予算案
- 第1回 東京支部資格更新研修会報告
- 第8回日本臨床発達心理士会全国大会のご案内
- 東京支部役員会報告
- 事務局より



■ 2012年度 日本臨床発達心理士会東京支部 総会報告

●日 時： 2012年5月20日(日) 12:00~12:30

●場 所： 日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

司会の開会宣言の後、森下由規子氏が議長として選出された。東事務局より定足数の確認が行われ、参加者158名と委任状183名を合わせ、会員713名の4分の1の定足数を満たしたため、総会成立との旨の報告があった。

初めに、報告事項として竹谷支部長より2011年度の活動について報告があった。その後、菊地会計より2011年度の決算が報告され、会計監査上野道子氏・加茂るりゑ氏より「相違ない」と監査報告がなされた。

次に、審議事項として、支部長と副支部長改選について、選挙管理委員の加藤弘美氏と石川ひとみ氏より、支部長・黒田美保氏(淑徳大学人間福祉学部)副支部長・小野里美帆氏(文教大学教育学部)、松村裕美氏(両国発達支援センターあんと)が推薦され、会員の拍手によって承認された。

その後、黒田新支部長の代理として小野里新副支部長より2012年度の活動計画と2012年度の予算が提案され、承認された。2012年度の役員と会計監査は、下記の通りである。

支部長・幹事：黒田美保、**副支部長**：小野里美帆、松村裕美、**事務局**：東敦子、**会計**：菊地真由美、加藤弘美、**研修**：原恵子、大倉滋之、山中ともえ、高橋道子、田村満子、竹谷志保子、**特別支援 NW**：田中雅子、正田康恵、大隈幸子、菅原真弓、**子育て支援 NW**：河島恵美子、坪井寿子、**ニューズレター**：中内麻美、小堀あゆみ、**会計監査**：深澤義子、宇賀神るり子

議事終了後、議長の解任がなされ、閉会となった。9月15-16日に東京ビックサイトで行われる全国大会に向けて全会員が一致協力していくことが再確認された。

■ 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動報告

1. 総会の実施

規定に基づき、2011年6月26日(日)日本大学(文理学部)にて総会を開催し、2011年度の活動計画と予算を決定した。

2. 研修会・研究会等の開催

<表1>の計画に沿って、研修会を開催した。

3. 特別支援教育事業関係

文京区教育委員会、東京都教育委員会からの依頼により、支部としてスタッフを配置した。

1) 文京区巡回相談

対象校：小学校20校、中学校10校 巡回担当者 14名

特別支援教育コーディネーター連絡会 講師1回

特別支援教育コーディネーター養成研修会 講師1回

2) 都立特別支援学校への配置

対象校：2校（永福学園・350時間、青峰学園・140時間）担当者5名

3) 都立高等学校巡回相談

対象校：11校 巡回担当者名10名 配置時間332時間

大江戸、六本木、世田谷泉、桐ヶ丘、稔ヶ丘、八王子拓真、浅草、新宿山吹、蔵前工業科学技術、五日市

4. ネットワーク研修会

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めた。

(ア) 特別支援教育ネットワーク

特別支援教育に関わる教育を中心にしたネットワークグループ。

(イ) 子育て・発達支援ネットワーク

乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク。

(ウ) 発達臨床研究ネットワーク

発達臨床研究に携わる研究者を中心としたネットワーク。

5. ニュースレターの発行とホームページの運営

ニュースレターをホームページ上で年2回発行した。

研修会のお知らせなどはタイムリーに会員へメール連絡を行った。震災直後の情報伝達もスムーズに行われ、緊急の研修会の実施も可能であった。掲示板では、研修会案内のほか、会員専用掲示板にて会員同士の情報交換をおこなっている。

6. 支部会費の徴収

2010年度より、本部に全国会費と支部会費が一括納入された後に配分される方法となっている。

2009年度の未収金の請求、過払い金の返金を昨年度に引き続き行った。

7. 東日本震災支援本部への協力

支部長（竹谷志保子）、副支部長（須田治）、事務局（東敦子）の3名が東日本震災支援本部運営委員として会議に出席するほか、東京支部として以下の活動を行った。

4月10日 東京支部主催災害支援研修会（筑波大学附属特別支援学校にて）

東京都内避難所の状況把握

ボランティアの募集と派遣への協力。

6月19日 東北支部研修会に竹谷、須田、東の3名が参加。

11月3日 東京支部主催災害支援研修会（淑徳大学池袋サテライトキャンパスにて）

<表 1> 2011 年度研修内容一覧

研修会	日程
災害支援研修会 第 1 回	2011 年 4 月 10 日
災害支援研修会 第 2 回	2011 年 11 月 3 日
東京支部資格更新研修会 第 1 回	2011 年 6 月 26 日 (日)
第 2 回	2011 年 11 月 27 日 (日)
保育・子育て支援ネットワーク研修 (2 回)	2011 年 6 月 26 日 (日) 2012 年 1 月 28 日 (日)
特別支援教育ネットワーク研修 (3 回)	2011 年 6 月 26 日 (日) 2011 年 11 月 27 日 (日) 2012 年 1 月 8 日 (日)
発達臨床研究ネットワーク (2 回)	2011 年 6 月 26 日 (日) 2012 年 2 月 27 日 (日)
文京区巡回相談研修会 (3 回)	2011 年 6 月 28 日 (火) 2011 年 10 月 20 日 (木) 2012 年 3 月 2 日 (金)
高等学校巡回相談・特別支援学校外部専門家研修会 (3 回)	実施しなかった

■ 2012 年度 日本臨床発達心理士会東京支部 活動計画

1. 総会の実施

規定に基づき、2012 年 5 月 20 日 (日)、日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場にて総会を開催し、支部長、副支部長の改選、2011 年度の活動報告と決算報告、2012 年度の活動計画と予算を決定する。

2. 日本臨床発達心理士会第 8 回全国大会の実施

全国大会準備委員会を設置し (大会長 竹谷志保子、事務局長 東敦子)、下記の要領で全国大会を実施する。

日程：2012 年 9 月 15 日 (土)、16 日 (日)

場所：東京ビックサイト

テーマ：「主体」を支え・つなぐ ～インクルーシブ社会の実現にむけて 10 年目の挑戦～

3. 研修会・研究会等の開催

<表 1>の計画に沿って研修会を開催する。

4. 特別支援教育事業への協力

文京区教育委員会、東京都教育委員会からの依頼により、支部としてスタッフを配置する。

1) 文京区巡回相談

対象校：小学校 20 校、中学校 10 校 巡回担当者 16 名

特別支援教育コーディネーター連絡会への参加

2) 都立特別支援学校への配置

対象校：3 校

継続…永福学園 350 時間・青峰学園 140 時間 担当者 5 名

新規…練馬特別支援学校 300～350 時間 担当者 2 名程度 (予定)

3) 都立高等学校巡回相談

対象校：12 校 巡回担当者 10 名 (予定) 配置時間 330 時間

継続…大江戸、六本木、世田谷泉、桐ヶ丘、稔ヶ丘、八王子拓真、浅草、新宿山吹、蔵前工業、科学技術、五日市

新規…秋留台高等学校

ネットワーク作り

共通する領域・職域に関わる会員同士が情報交換や研修会を行うことで、会員相互の交流と研鑽を深めていくため、引き続き下記のネットワーク活動（主として研修会）を行う。

(ア) 特別支援教育ネットワーク

特別支援教育に関わる教員を中心にしたネットワークグループ。

(イ) 子育て・発達支援ネットワーク

乳幼児期の子育て支援、発達支援に関わる臨床発達心理士を中心としたネットワーク。

(ウ) 発達臨床研究ネットワーク

発達臨床や発達臨床についての基礎研究に関わる人、または関心のある人を中心としたネットワーク。

6. ニュースレターの発行

ニュースレターを年2回発行し、会員にメールで配信する。

7. ホームページの運営

ホームページを運営し、支部の活動についての情報提供、研修会案内、ネットワーク活動のサポート、被災地支援の状況報告、ニュースレターの閲覧、全国士会や他支部へのリンクなどができるようにする。

8. 東日本大震災の災害支援

1) 「災害・危機支援特別委員会」への参加・協力

臨床発達心理士会東日本支援対策本部が解散し、2012年1月に発足した「災害・危機支援特別委員会」に参加・協力し、災害対策支援を行う。

2) 東北支部の災害対策への協力

東北支部と連絡を取り合いながら、東北支部（特に支部連携のペアとなっている宮城県）の災害対策に協力していく。

9. 日本臨床発達心理士会への参加・協力

日本臨床発達心理士会幹事会等に出席し、情報共有、発信、提案等を行っていく。

<表1> 2012年度研修内容一覧

研修会	日程
東京支部資格更新研修会（2回）	第1回 2012年5月20日（日）
	第2回 2012年12月予定
特別支援教育ネットワーク研修（2回）	第1回 2012年5月20日（日）
	第2回 2013年1月14日（祝）
子育て・発達支援ネットワーク研修（2回）	第1回 2012年5月20日（日）
	第2回 2013年1月予定
発達臨床研究ネットワーク（2回）	第1回 2012年5月20日（日）
	第2回 2012年12月予定
文京区巡回相談研修会（3回） （担当者研修）	第1回 2012年6月20日
高等学校巡回相談・特別支援学校外部専門家研修会 （担当者研修）	第1回 2012年11月18日（日）
特別支援教育巡回相談スタッフ養成研修	第1回 2012年10月21日（日）

■ 2011年度 日本臨床発達心理士会東京支部 決算報告

会計期間: 2011年4月1日~2012年3月31日
(単位: 円)

【収入の部】

項目	予算額	決算額	比較増減
1. 2011年度支部会費	1,408,000	1,252,000	-156,000
2. 2010年度以前支部会費	118,000	14,000	-104,000
3. 支部研修参加費(NW研修受講費を含む)	0	28,000	28,000
4. ゆうちょ銀行利子	0	345	345
5. 前年度繰越金	1,600,947	1,600,947	0
6. 不明金	0	1,910	1,910
合計	3,126,947	2,897,202	-229,745

【支出の部】

1. 研修会 運営費	a. 支部研修会(2回3講義)	会場費	50,000	59,398	-9,398
		講師謝礼	64,000	64,000	0
		運営費	10,000	20,693	-10,693
	b. 特別支援教育NW研修会(3回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	5,000	59,000
		運営費	10,000	9,217	783
	c. 発達支援NW研修会(3回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	5,000	59,000
		運営費	10,000	112	9,888
	d. 発達臨床研究NW(2回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	128,000	32,000	96,000
		運営費	10,000	0	10,000
	e. 文京区巡回相談研修会(3回)	会場費	5,000	5,900	-900
		運営費	5,000	160	4,840
	f. 特別支援学校・高等学校 巡回相談研修会(2回)	会場費	20,000	0	20,000
		講師謝礼	64,000	0	64,000
		運営費	10,000	0	10,000
		その他	100,000	0	100,000
東京ピエロプロジェクト運営費 446000 (東日本大震災災害対策支援費)	会場費	40,000	0	40,000	
	講師謝礼	150,000	50,000	100,000	
	講師謝礼交通費	136,000	41,560	94,440	
	運営費	20,000	2,795	17,205	
	その他	100,000	0	100,000	
2. 事務局運営費	PCソフト代	40,000	0	40,000	
	事務アルバイト代	360,000	5,000	355,000	
3. HP運営費		350,000	214,347	135,653	
4. ニュースレター発行費(2回)		0	27,040	-27,040	
5. 通信費		120,000	21,930	98,070	
6. 印刷代		120,000	2,480	117,520	
7. 会議費		90,000	57,710	32,290	
8. 事務用品/備品		80,000	128,197	-48,197	
9. 2009年度支部費返金(二重払い)		0	4,000	-4,000	
第8回全国大会準備金		0	500,000	-500,000	
収入 不明金		1,910	0	1,910	
支出合計		2,181,910	1,256,539	925,371	
10. 予備費		945,037	0	945,037	
総計		3,126,947	1,256,539	1,870,408	

差引残高 1,640,663 円は2012年度東京支部への繰り越し金といたします。

以上、ご報告いたします。

2012年5月20日

日本臨床発達心理士会東京支部
支部長 竹谷 志保子
事務局長 東 敦子

会計監査の結果、適正に処理されていた
ことを認めます。

会計監査 上野道子氏・加茂るり系

■ 2012年度 日本臨床発達心理士会東京支部 予算案

【収入の部】			
摘要		備考・内訳	
2012年度支部会費	1,426,000	2,000円×713名(5/20現在)	
巡回相談員養成研修参加費	40,000	2,000×20名	
前年度繰越金	1,640,663	2011年度決算より	
A: 収入合計	3,106,663		

注:支部会費は、士会本部が年会費と同時に徴収し、本部から支部に振り込まれるシステムになっているが、2009年度のみ支部に直接支払う方式がとられた。今年度より、送金時点の支部会員人数分が振り込まれることになり、また、2009年度分を含む2011年度以前の未納分280,000円(2,000×のべ130名)についても、士会事務局が対応することとなったが、支部では状況把握(対象者、他支部への移動、退会者など)ができないため、予算には計上せずに決算時に報告することとする。

【支出の部】			
摘要		備考・内訳	
研修会運営費	701,000	支部研修会(2回2講義)	
		会場費	60,000
		32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000
		運営費	30,000
		特別支援教育NW研修会(2回)	
		会場費	20,000
		32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000
		運営費	10,000
		発達支援NW研修会(3回)	
		会場費	20,000
		32,000×2人 講師謝礼・交通費	64,000
		運営費	10,000
		発達臨床研究NW(2回)	
		会場費	20,000
32,000×4人 講師謝礼・交通費	128,000		
運営費	10,000		
文京区巡回相談担当者研修会(3回)			
会場費	10,000		
運営費	5,000		
特別支援学校・高等学校巡回相談担当者研修会(1回)			
会場費	5,000		
運営費	3,000		
特別支援教育巡回相談員養成研修(3回)			
会場費	30,000		
32,000×4人 講師謝礼・交通費	128,000		
運営費	20,000		
東京ピエロプロジェクト運営費 (東日本大震災災害対策支援費)	244,000	研修会(1回)	
		会場費	20,000
		30,000×2人 講師謝礼・交通費	60,000
		22,000×2人 講師交通費	44,000
運営費	20,000		
その他(事務費、会議費、等)		100,000	
事務局運営費	460,000	PCソフト代・メンテナンス等	
			100,000
事務アルバイト代等		30,000×12ヶ月	360,000
HP運営費	350,000	業者委託費、運営・通信費等	
通信費	120,000	会員への研修案内(80×713×2)、事務書類発送等(80×50+α)	
印刷代	120,000	総会資料、役員会資料、研修会資料等	
会議費	90,000	役員交通費(2000×15人×3回) 5回開催予定 研修会と同日に行う2回は交通費無し	
事務用品/備品	150,000	会計印、記録保存・整理用USB、ファイル等	
全国大会アルバイト費	650,000	全国大会運営費からの支払いが困難な場合の補てん	
B: 支出合計	2,885,000		
C: 予備費	221,663	予備費、2013年度支部会費が納入されるまでの運営費	
D: 残高	0		
総計	3,106,663		
A: 収入合計	3,106,663		
B: 支出合計	2,885,000	残高(D)[収入合計(A)－支出合計(B)－予備費(C)]= 0	
C: 予備費	221,663		

■ 第1回 東京支部資格更新研修会報告

●日 時： 2012年5月20日（日）

●場 所：日本大学文理学部 百周年記念館 国際会議場

●研修1 午前の部（9時30分～12時30分）

テーマ：「WISCIVを発達支援にいかすために」

講師：大六一志氏（筑波大学）

解釈の基本的な流れを講義いただいた。WMI,PSI,の解釈について、行動特性との関連での見分け方、指標得点を対比的にとらえることによって認知特性とそれに合わせた指導方針を講義され、続いて特徴的な事例をあげ、結果の解釈と支援方針を示された。特に、補助検査を活用するには、事例の主訴や行動特徴をもとに事前に子どもの知的発達の特徴を捉えるための方略を立ててから検査を実施することが必要であり、補助検査の利用によってより詳細に子どもの特性が捉えられ、結果の解釈を発達支援により有効に活用できることが示された。

●研修2 午後の部（14時～15時30分）

A：臨床発達研究ネットワーク2011年度第1回研修会報告

今回はグループに分かれて、①興味を持っている研究テーマ、②研究対象フィールド、③研究方法、④研究を臨床にどう生かすか、などのテーマで話し合いを行った。参加者のバックグラウンドは、スクールカウンセラー、心理・発達相談員、療育施設職員その他、大学教員、特別支援学校教員、など、さまざまであったが、現場での変化や発見をいかに理論化していくか、資料の収集の仕方から、分析の方などの具体的なノウハウだけでなく、基礎的な発達研究についての知見を学ぶ必要があるとの意見が出された。今年度の資格更新研修会の企画についての提案など、情報交換が活発に行われた。

B：子育て・発達支援ネットワーク2011年度第1回研修会報告

ネットワーク参加者から多く出されることのひとつに、地域での具体的な支援の状況、他機関の情報の交換、携わるさまざまな現場での支援に対する意見交換の機会を持ちたいという希望である。今回は、東京都をおおまかに3つのエリアに分け、4つのグループを作り、ディスカッションを行った。近い地域での具体的な実状を知ることができるだけでなく、それぞれの機関の機能を知ることができ、実際の支援に活用するための方法を得たり、具体的な事例を通して、機関同士の役割や連携の必要性を共有することができるなど、明日からのそれぞれの実践に生かせる情報交換を行うことができた。このネットワークの参加者は、さまざまな機関で、さまざまな役割で、乳幼児期の子育て・発達支援に携わっている。今後は、機関での発達支援、保育機関での巡回相談、保健センターでの健診など、それぞれの情報交換・意見交換の機会や支援の質を高めるための研修・講演などを企画していきたいと考えている。

C：特別支援根とワーク2012年度第1回研修会報告

テーマ：「東京都の特別支援教育推進のために～臨床発達心理士として私たちにできること」

話題提供：加茂るりゑ氏（杉並区教育委員会）

「東京都杉並区における特別支援教育の取組～心理職としての関わり～」

- ・今回は、東京都杉並区における特別支援教育の取組について加茂るりゑ氏からご説明いただき、心理職としてどのように関わっておられるか実際のところを話題提供していただいた。
- ・スクールカウンセラーや巡回相談等で小・中学校等に関わりを持っている心理職、学校教員から好評であった。
- ・グループ討議：1グループ5、6人。自己紹介。午前の大六先生の研修の感想、加茂氏の話提供の感想、今後の特別支援教育NW研修への要望、臨床発達心理士としての自分の役割等、活発な情報交換を行えた。

■ 第8回日本臨床発達心理士会全国大会のご案内

●日時：2012年9月15日（土）・16日（日）●場所：東京ビッグサイト 会議棟7階

●テーマ：「主体」を支え・つなぐ インクルーシブ社会の実現に向けて 10年目の挑戦

<http://www.jacdp.jp/congress/>

■ 事務局より

● ネットワーク活動について

(1) 3つのネットワーク

東京支部には現在以下の3つのネットワークがあります。活動内容はホームページ上の掲示板にて随時ご紹介していきますのでご覧ください。第1回ネットワーク研修会は5月20日に終了し、第2回目以降は、以下のスケジュールを予定しています。今後のネットワーク研修会のご案内は、ホームページへの掲載とメール配信によってのみ行い、郵送は致しませんので、ご了承ください。

① 発達臨床研究ネットワーク（12月予定）

対象：研究者や実践研究を目指す臨床家など

世話人：須田治・東敦子

② 子育て・発達支援ネットワーク（2月予定）

対象：保育園・幼稚園等の巡回、健診、療育などに携わる人

世話人：河島恵美子・小堀あゆみ・河合真紀子・坪井寿子

③ 特別支援教育ネットワーク（1月14日）

対象：学校現場で特別支援教育に携わる人

世話人：田中雅子・正田康恵・大隈幸子・菅原真弓

(2) ネットワークメンバーの登録

ネットワークメンバーは、メーリングリストを使って、研修会の準備や情報交換などを行っていきます。複数のネットワークにメンバー登録できますが、研修会の参加はメンバー登録をしていなくても可能です。メンバーは講師の話を受動的に聞くのではなく、自らの実践報告を積極的に発信していただきたいと思えます。また、ネットワーク掲示板にて研修会や会員の活動の様子などを支部会員に向けて発信してください。

ご希望の方は事務局までご連絡ください (jimu@jocdp-tokyo.net)。

(4) ニュースレターについて

ホームページ閲覧による配信を基本としていきます。郵送はいたしませんので、ご了承ください。

(5) 掲示板について

ホームページに会員専用の以下の4つの掲示板を設置していますので、ご活用ください。

会員のひろば（従来の掲示板）

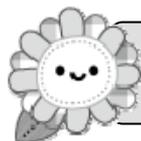
特別支援教育NW

子育て・発達支援NW

発達臨床研究NW

*パスワードは、メールにてお知らせいたします。

● 連絡先：東京支部事務局・東 敦子（のぞみ発達クリニック） jimu@jocdp-tokyo.net



東京支部ニュースレター2012年度2号(通巻16号) 2012.8発行

編集:小堀あゆみ・中内麻美(NL担当)